



膣カンジダの再発による外陰部症状の治療薬

第1類医薬品

メンソレータム® **フレディCC** クリーム

※本剤の使用は、以前に医師から膣カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限ります。

本剤は膣内のカンジダを治療するものではありません。膣内の治療には、膣剤の使用が必要です。

膣カンジダとは？

膣カンジダとは、カンジダという真菌(カビの仲間)によって起こる膣炎です。女性性器の感染症の中では、よくみられる疾患ですが、適切な治療を行うことが大切です。

膣カンジダの特徴的な症状

膣カンジダにかかると、おりものの量や見た目に変化(おかゆ(カッテージチーズ)状や白く濁った酒かす状)がおり、外陰部に発疹(発赤、はれた感じ等)を伴うかゆみが生じます。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しないでください。

- (1) 以前に医師から、膣カンジダの診断・治療を受けたことがない人。
- (2) 膣カンジダの再発を繰り返している人。(2ヶ月以内に1回又は6ヶ月以内に2回以上)
- (3) 膣カンジダの再発かどうかよくわからない人。
- (4) 発熱又は悪寒がある人。
- (5) 吐き気又は嘔吐がある人。
- (6) 下腹部に痛みがある人。
- (7) 不規則な、又は異常な出血、血の混じったおりものがある人。
- (8) 膣又は外陰部に潰瘍、水膨れ又は痛みがある人。
- (9) 排尿痛がある人、又は排尿困難な人。
- (10) ただれのひどい人。
- (11) 次の診断を受けた人。 糖尿病
- (12) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (13) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (14) 60歳以上の高齢者又は15歳未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください。

- (1) 外陰部以外の部位(爪、頭皮、目など)

相談すること



1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 授乳中の人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。

関係部位	症 状
皮ふ	刺激感、発赤、かゆみ、かぶれ、疼痛(すきすきする痛み)

3. 3日間使用しても症状の改善がみられないか、6日間使用しても症状が消失しない場合は使用を中止し、医師の診療を受けてください。なお、本剤の単独使用で効果がない場合も、自己判断で治療を行わず、医師の診療を受けてください。

効能・効果

膣カンジダの再発による、発疹を伴う外陰部のかゆみ(以前に医師から、膣カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限る。)ただし、膣症状(おりもの、熱感等)を伴う場合は、必ず膣剤(膣に挿入する薬)を併用すること。

成分・分量

有効成分	配合量
イソコナゾール硝酸塩	1%

添加物として、ポリソルベート60、ステアリン酸ソルビタン、セトステアリルアルコール、流動パラフィン、ワセリンを含有する。

用法・用量

成人(15歳以上60歳未満)、1日2～3回適量を患部に塗布する。

ただし、**3日間**使用しても症状の改善がみられないか、**6日間**使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けること。

(1) 外陰部症状のみの場合: 本剤を使用すること。ただし、腔剤(腔に挿入する薬)を併用することが望ましい。

(2) 腔症状(おりもの、熱感等)を伴う場合: 腔剤(腔に挿入する薬)を併用すること。

用法及び用量に関連する注意

- (1) 使用前後は、手指を石けんでよく洗ってください。
- (2) 目に入らないようにご注意ください。万一、目に入った場合は、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (3) 生理中は使用しないでください。使用中に生理になった場合は使用を中止してください。また、治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けてください。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 本剤は、コンドーム等の避妊用ラテックスゴム製品の品質を劣化・破損させる可能性があるため、これらとの接触を避けてください。
- (2) 直射日光の当たらない涼しいところに密栓して保管してください。
- (3) 小児の手の届かないところに保管してください。
- (4) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、一度開封した後はなるべく早くご使用ください。

生活上の注意

- (1) 腔カンジダを再発した場合には、パートナーに感染している可能性があるため、腔カンジダに感染した旨を伝え、パートナーの方は陰部のかゆみ、発赤等の不快症状があれば、すぐに医師の診療を受けてください。
- (2) パートナーへの感染を避けるため、本剤を使用中は性行為を避けましょう。
- (3) 本剤を使用中は、患部への刺激を避けるため、殺精子剤は使用しないようにしましょう。
- (4) 入浴時は石けんの刺激を避けるために、外陰部は石けんで洗わず、お湯だけで軽く洗う程度にしましょう。
- (5) カンジダ菌は、温度や湿度の高い状態で繁殖しやすいため、できるだけ乾燥した状態を保つようにすることが大切です。以下の点に気を付けましょう。
 - ー入浴、水泳後等は、腔の外側は十分乾かしましょう。濡れた水着などはできるだけ早く着替えましょう。
 - ーおりものシートなどの衛生用品を使用される場合は、こまめに交換しましょう。
 - ー下着は、通気性のよい綿製品などを用いるようにしましょう。
- (6) 下着やタオルは毎日清潔なものを着用、タオルなどは感染を避けるため、家族と共用しないようにしましょう。
- (7) カンジダ菌は腸にも常在している菌です。トイレの後は腸からの感染を避けるため、前から後ろにふききましょう。
- (8) かゆみがあっても、外陰部をかかないようにしましょう。かくと、刺激がひどくなったり、感染が広がる可能性があります。

お問い合わせ先: お客さま安心サポートデスク

お気軽にお問い合わせください。女性スタッフが丁寧にお応えします。

フレディコール: 06-6758-1422

受付時間 9:00～18:00(土、日、祝日を除く)

<http://flady.jp>

ROHTO ロート製薬株式会社
大阪市生野区糺西1-8-1

フレディCCシリーズ

腔カンジダの再発で、おりものや熱感などの腔症状を伴う場合は、腔剤での治療が必要です。

第1類医薬品

腔カンジダの再発治療薬 6日間用(1日1錠)

メンソレータム **フレディCC 腔錠**

腔カンジダを元から治療して、かゆみ・おりものなどの不快な症状を鎮めます。

